

アメリカ政治経済演習：アメリカ合衆国における現代民主政
[08C2624]

東京大学教養学部後期課程
教養学科地域文化研究北アメリカ研究
2021年度秋 semester
月曜2限
実施形態：オンラインおよび対面

教員：平松彩子
連絡先：ITC-LMS上で個別に連絡
オフィスアワー：予約制

授業概要

アメリカ合衆国は、世界に先駆けて始まった民主主義国家であるという自己認識を対外的に示す一方で、その政治体制は内部に様々な矛盾や問題点を抱えてきた。本授業では、まずアメリカ合衆国の政治制度の概論を学び、次に選挙と政党、投票権の行使、格差と人種、刑務所という四つのテーマに着目しながら現代アメリカ政治についての理解を深める。その上で、過去およそ半世紀の間に起きた主要な政治的変動が現在のアメリカの民主政に与えている影響を、政治学の観点から考察することを目標とする。

授業計画

- | | | |
|------|----------|-------------------|
| 第1回 | 10月4日 | はじめに |
| 第2回 | 10月11日 | アメリカ政治概論：三権分立と連邦制 |
| 第3回 | 10月18日 | 民主的体制の成立要件 |
| 第4回 | 10月25日 | 選挙と政党（1） |
| 第5回 | 11月1日 | 選挙と政党（2） |
| 第6回 | 11月8日 | 投票権（1） |
| 第7回 | 11月15日 | 投票権（2） |
| 第8回 | 11月29日 | 人種と格差（1） |
| 第9回 | 12月6日 | 人種と格差（2） |
| 第10回 | 12月13日 | 刑務所（1） |
| 第11回 | 12月20日 | 刑務所（2） |
| 第12回 | 12月27日 | アメリカ民主政の批判的検討 |
| 第13回 | 22年1月17日 | おわりに |

授業各回の課題文献と内容

第1回 10月4日 はじめに

- シラバス配布、授業概要の説明

第2回 10月11日 アメリカ政治概論：三権分立と連邦制

- 久保文明、砂田一郎、松岡泰、森脇俊雅 著『アメリカ政治 第3版』有斐閣アルマ、2017年

第3回 10月18日 民主的体制の成立要件

- ロバート・A. ダール『ポリアーキー』高畠通敏、前田脩 翻訳、岩波文庫、2014年/ Robert A. Dahl. *Polyarchy: Participation and Opposition*. Yale University Press. 1971
- 授業内口頭報告、議論

第4回 10月25日 選挙と政党（1）

- 久保文明、金成隆一『アメリカ大統領選』岩波新書、2020年
- 授業内口頭報告、議論

第5回 11月1日 選挙と政党（2）

- Jacob S. Hacker and Paul Pierson. *Let Them Eat Tweets: How the Right Rules in an Age of Extreme Inequality*. (W. W. Norton, 2021)
- 授業内口頭報告、議論

第6回 11月8日 投票権（1）

- Henry Hampton. *Eyes on the Prize: Bridge to Freedom* (1965). (Documentary film series produced by Blackside. PBS. 1987)
- 1964 Civil Rights Act
- 1965 Voting Rights Act
- ドキュメンタリー視聴の後、授業内議論

第7回 11月15日 投票権（2）

- *Shelby County, Alabama v. Holder* (2013)

- アリ・バーマン『投票権をわれらに 選挙制度をめぐるアメリカの新たな闘い』秋元由紀 翻訳、白水社、2020年/Ari Berman. *Give Us the Ballot: The Modern Struggle for Voting Rights in America*.
- 授業内口頭報告、議論

第8回 11月29日 人種と格差(1)

- Ta-Nehisi Coates. "The Case for Reparations." *The Atlantic*. June 2014.
- 授業内口頭報告、議論

第9回 12月6日 人種と格差(2)

- ナンシー・アイゼンバーグ『ホワイト・トラッシュ アメリカ低層白人の四百年史』渡辺将人 監訳、富岡由美 訳、2018年/Nancy Isenberg. *White Trash: The 400-Year Untold History of Class in America*. (Viking. 2016)
- 授業内口頭報告、議論

第10回 12月13日 刑務所(1)

- 西山隆行『〈犯罪大国アメリカ〉のいま 分断する社会と銃・薬物・移民』弘文堂、2021年
- 授業内口頭報告、議論

第11回 12月20日 刑務所(2)

- Vesla M. Weaver and Amy E. Lerman. "Political Consequences of the Carceral State." *American Political Science Review*. November 2010.
doi:10.1017/S0003055410000456
- 授業内口頭報告、議論

第12回 12月27日 アメリカ民主政の批判的検討

- スティーブン・レヴィツキー、ダニエル・ジブラット『民主主義の死に方 二極化する政治が招く独裁への道』濱野大道 翻訳、新潮社、2018年/Steven Levitsky and Daniel Ziblatt. *How Democracies Die*. (Crown. 2018)
- 授業内口頭報告、議論

第13回 22年1月17日 おわりに

- 最終課題ペーパーについての報告

成績評価方法

口頭報告（40％）、議論への参加と貢献度（20％）、最終期末課題ペーパー（40％）によって成績を評価する。全13回ある授業のうち、3分の1以上の回数を欠席した場合は単位を認めない。

1. 口頭報告

報告では、文献の要約を行なった後に議論を行うための疑問点を提示する。配布レジュメを準備すること。

2. 最終期末課題ペーパー

学期末にペーパーを提出する。教員が問いを提示するので、授業の文献と議論に基づいて回答する。ペーパーの分量は日本語で六千字以上、英語では2000 words 以上を予定。詳細は追って告知する。

課題文献以外の参考書

アメリカ政治を初めて学ぶ履修者には、自習用に下記の参考書を推奨する。

- 岡山裕、西山隆行 編『アメリカの政治』（弘文堂、2019年）